

■欧州：EUの新たなエネルギー・インフラ規則が公式に成立

欧州閣僚理事会は2013年3月21日、EUの新たなエネルギー・インフラ規則を採択した。同規則は、EUのエネルギー気候変動政策の目標を達成する上で、重要かつ不可欠なエネルギー・インフラ（国際的な送電網やガスパイプラインなど）の開発を促す目的で策定された。同規則では、特に重要性の高いインフラ・プロジェクトが、所定の手続きに則って特定され、これらのプロジェクトに対し、許認可手続きや資金調達面での優遇措置を与えることが提案されている。特に、許認可手続きは原則的に3年半以内に完了することが謳われており、計画から完成までにかかる期間の短縮化が図られる。本規則は、2011年10月に欧州委員会により起草され、2012年11月、EUの立法機関である欧州議会と欧州閣僚理事会との間で、法案の内容について非公式な合意が成立していた。その後、2013年3月に欧州議会が同規則案を正式に採択、今回、欧州閣僚理事会でも採択の手続きが完了したことで、正式に成立する運びとなった。同規則はEU官報に掲示されてから20日後に発効する。